

その他の土木工事業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	12～13	車を停車していたとき、4t車に追突された。	50	—
1	15～16	3tダンプトラックにて材料をとりに行った。合材を積載したのちに保温用シートをかけていたところ風でシートが動いたので慌てて、左足でシートを押さえようとしたところ、誤って高さ1.27mから左側を下にして転落し、負傷した。	76	1～9
1	15～16	資材置き場まで2tダンプで運転中、丸パイプとコンパネとリン木（型枠材）を積んで移動している最中、4tトラックとの接触事故が発生した。	18	—
1	11～12	雑木伐採工事において、トラックにチェーンソーを取りに戻り、トラックから後ろ向きで降りようとタイヤに左足をかけた時足が滑り、荷台の縁で左胸下部を強打し、痛みが増してきた。	34	1～9
1	18～19	資材置場で後片付けを終え、2トンダンプで会社事務所に帰るため、開閉式の門を出たところで車両のエンジンをかけたままサイドブレーキを引き車両から降りて門を閉めた際、傾斜のある道路の田に向かって車両が動き始めたため、とっさに車両を止めようとしたが、止まらず車体に左足を接触し負傷した。	55	—
1	9～10	会社駐車場にて車に乗り込もうとしてドアを開けた際、ドアが開ききらない内に乗り込もうとして、右手を打撲・裂傷を負った。以前にも、畑のモノラックの土嚢を降ろす際、レールにぶつけている。	63	—
1	11～12	会社の資材置場にて、4tダンプ上で石の積込をしていたところ、つまずいて石と共に4tダンプから落ち、石がふとももと腰あたりを直撃した。	61	10～29

2	16~17	会社の車庫の前でダンプの整備中（注油）に後のアオリを押さえるツメが寒さで凍りかけていた為、後ろのアオリが閉まらず手で閉めようとして指を挟んだ。	45	1 ~ 9
2	12~13	7tダンプでアスファルト舗装ガラを荷台を上げて捨てる際、ガラが荷台の搬出口に挟まりそれを撤去しようとしたところ、アスファルト舗装ガラと搬出口の間に右手薬指が挟まり負傷した。（右手薬指切断）	52	—
2	12~13	吹付工事現場から会社のトラックに搭乗し会社に戻る途中、S字カーブで運転手が脇見をしてしまい、高さ50cm程のブロック塀に衝突してしまい、その際の衝撃で負傷し、当日に通院した。	33	1 ~ 9
2	15~16	自宅前の倉庫の前でトラック（2t）からホースを下ろす時足を滑らして落ちた。前日にオイルをこぼして良く拭いておいたが少し残っていた。落下した時負傷した。	79	—
2	11~12	事業所内において、ダンプでの運搬作業に取り掛かる際に荷台にゴミを発見し、取り除こうと乗り込んだところ、前日からの雨で荷台の上が滑りやすくなっており、足をとられて前方へ倒れた。その際に荷台のへりで胸部を強打し、痛みが治まらず病院を受診したものである。	50	—
2	8~9	現場で組立作業中、工事で使用する道具を軽トラックに登って取り出し降りようとした際、軽トラックのふちに足を掛けて、足を滑らせてしまい、下に落ちた。左手を地面につき骨折した。	64	1 ~ 9
3	8~9	従業員が運転するトラックで会社から作業現場に向かって移動中、トラック車体右側が中央分離壁に激突して交通事故を起こした。その際、助手席に同乗していた従業員がフロントガラスから投げ出されて重傷を負った。	26	30 ~ 49
3	13~14	コンクリート壁、生コン打設時にコンクリートミキサー車のシュート部分を型枠の中に治めるためシュートの先端に手を添え、運転手に合図を送り少しずつ型枠に近づくのを確認しながら作業を行っている時に、型枠とシュートの間に右手をはさまれ負傷した。	59	10 ~ 29
3	13~14	重機置場で3tダンプより重機によって積み荷を降ろす際に、右旋回中に被災者を押し、被災者は転落し、臀部より落ちて全身を強く打った。	62	1 ~

				9
3	14~15	2tダンプの荷台後面鋼板をはずす作業の際、後面鋼板と側面鋼板とのつなぎの左側ピンを外そうとした時、すでに外していた右側から後面鋼板がずり下がり、左側の後面鋼板と側面鋼板のすきまに左手薬指先端部がはさまれ、指の先端部を骨折した。	62	10 ~ 29
4	14~15	自社砂利置場にて、敷鉄板（幅1.5m、長さ6m）をクレーン機能付きバックホウで10tトラックへの積込補助業務に従事中、吊り上げた敷鉄板が風に煽られ、トラックの荷台で誘導をしていた被災労働者がバランスを崩して転落（地上高1m）し、頭部等を強打した（ヘルメット着用）。	71	30 ~ 49
4	10~11	自社資材置き場で建築廃材の積み込み作業中2tダンプに倉庫内の土嚢袋を積もうとした時に脚立を使わずに2tダンプの荷台に上がろうとしたため足を滑らせ転倒し、荷台で胸を強打した。	37	1 ~ 9
4	13~14	自社ヤードにて玉掛け作業終了後、トラックの荷台から降りる時にステップがあると勘違いして踏み外し、左足かかと骨が割れる等の負傷をした。	49	50 ~ 99
5	7~8	会社資材置き場において、現場（個人宅）ブロック工事に行く為の準備作業中、重機廻送車後方で一輪車（ネコ車）に付着したコンクリートをハンマーで叩いて除去していた時、廻送車両を移動させる際に十分な後方確認が行われないうちにバックし始めた為、被災者が気付いて避けようとしたが間に合わず、バックして来た廻送車両荷台後部に右腕が接触し負傷した。	46	1 ~ 9
5	8~9	資材置場において、工事資材の積み込み作業完了後、ふらついてトラックの荷台から落下した。	65	10 ~ 29
5	7~8	トラック荷台にて合材シートが落ちそうになっているのを直そうと荷台へ上ろうとした時に、雨だったこともあり、誤って足を滑らせて転倒した。しばらく様子を見ていたが痛みが引かず、肋骨骨折であると分かった。	47	1 ~ 9
	15~	現場にて4tトラックに塩ビ管を積み、荷台から降りる時、あおりを留める金具にズ		1

6	16	ボンが引っかかり、落ちた時に左手手首を負傷した。	45	～ 9
6	10～ 11	4tダンプトラックの上で荷役作業中、長い丸太に足を引っ掛け転落し、右手首を負傷した。	39	1 ～ 9
6	16～ 17	構内にて、翌日準備の荷物積込中に、荷台とロッドの間に指を挟み、右手小指先端を負傷した。	41	50 ～ 99
6	18～ 19	自社ヤードにて4tダンプから荷降ろしの際、後方あおりが滑り落ち、右足の甲に当たり、親指を骨折した。	30	1 ～ 9
7	10～11	資材積込後、荷を固定する作業中、4t車アオりに左足を掛けて、ベルトの固定を確認しようとしてバランスを崩して地面に滑落し左手首骨折、及び前歯を損傷した。	49	10 ～ 29
7	14～15	4tダンプ荷台の確認のため、ステップを降り、アスファルトに着いた時、右足首をひねった。	42	10 ～ 29
7	15～16	伐採現場で剪定及び枯損木伐採により発生した枝葉を2tダンプの荷台の上下で受け渡し中に雨で濡れていた枝に足を滑らせ落下した。その際右手を着き右手首を打撲した。	46	1 ～ 9
7	10～11	仕事の手伝いをするために敷地内で荷物を確認する作業をしようとしてダンプから下車した時に荷台ステップに足を踏みはずし、背中から落下した。ダンプは10トン車で2mの高さから落下した。	60	10 ～ 29
7	11～ 12	残材捨て場において、2tダンプが停車した状態で、合図者がダンプ運転手を誘導して荷下ろし作業中に積荷枕木が跳ねて左足後部を負傷した。	64	1 ～ 9
	9～	当社従業員は道路工事作業中、4tダンプ後方のあおりを下げようとして、あおりの		10

7	10	ロックがはずれ落下し、右足の甲を痛めてしまった。右足甲にひびが入ってしまったため、しばらく安静が必要と診断された。	49	～ 29
7	18～ 19	現場作業終了後、会社資材置き場にて、機材格納のため4tトラックの荷台上（高1.2m）で酸素ビン（約70kg）の荷下ろし作業中、酸素ビンを移動すべく力を加えたところ、酸素ビン底部と手が滑り、酸素ビンが倒れ掛かったので、荷台より飛び降り着地した際、地面の窪みに左足が入ってしまい、同足首を捻転し負傷した。湿布薬を貼付して様子を見たが改善が見られず、痛みが増悪した。	43	～ 9
7	16～ 17	資材置場にて、庫内資材整理のため、仮設足場材をトラック搭載型クレーンを使用し、荷降ろし作業中に、積み荷の仮設足場材（単管パイプの束）の上に乗って玉掛作業をしようとしたところ、バランスを崩して足を滑らせ、そのまま背面より荷台の上から転落し、打撲および骨折をした。	18	～ 49
7	18～ 19	4tダンプで現場から本社駐車場に到着後、リヤのダブルタイヤの間に挟まっている石を取り除こうと、被災者が一人でバールを使って石の取り外しを試みたが、なかなか外れないので、近くにいた同僚と共にノミとハンマーで石を砕きながら石を撤去した。石の取り除きが無事終了後、石が挟まっていた箇所にゴムの膨らみの異常があることに気づき、被災者にそのことを伝え、被災者がその部分を確認しようと、タイヤ近くに右手を近づけた瞬間、内側のタイヤの側面がバーストし、その空気の勢いで右手を負傷した。	63	～ 49
9	13～ 14	型枠を使用する材料を取りに4tユニックで資材置場に行き材料を積み終り、資材置場から100m走りだした時バンドが緩みそうになり、直そうとしてトラックに上がり足がすべり、トラックの荷台から2m下に落ちた。	44	～ 29
9	13～ 14	建設機械の約50kg位のランマーの積みおろし作業中に、ランマーが倒れそうになった為押さえようとしたら一緒に転倒した。そのまま早退し病院を受診し、それにより右肘、右肘周辺を骨折した。	51	～ 29
9	17～ 18	当社資材置場にて被災者が2tトラックの荷台から重機を降ろそうとしてトラック荷台後部の鉄ドアを外そうとした際、鉄ドア下部の止め金が外れていることに気づかずに上部の止め金を外したため、長さ約2m、幅50cm、重さ約80kgの鉄ドアが左足に落下、小指を骨折、負傷したものである。	54	～ 9

9	11～ 12	常用土木工事において、外注傭車（ダンプ）のリヤゲートを閉めようとした際、右手の薬指をゲートに挟んでしまい、受傷した。	67	1 ～ 9
9	8～9	仮設足場材の積込作業の際、トラック荷台より地面へとおりた際に足を捻った。痛みがあったが、当日の作業に出発、午後の作業中に痛みが強くなったので就業後に病院を受診、靭帯損傷と診断された。	20	10 ～ 29
9	14～ 15	廃棄処理の草を運搬中に前方停止直前の4tダンプに後方からの2tダンプが速度減速しないまま追突した、2tダンプに乗車（運転手）していた。	57	1 ～ 9
9	15～ 16	会社の資材置場で会社からの指示により、地区のマラソン大会の準備で旗を立てる作業を行うために、軽トラックに旗を積み込み、出発しようとした時、被災者が荷台に腰をかけているのに気付かず車を発進させ路面の段差によりバウンドした弾みで荷台から後ろ向きに転倒して、後頭部を路面で打った。	49	10 ～ 29
9	17～ 18	工事現場での作業終了後、会社のトラックで帰社中にバイパスを走行中、センターラインを越えて、対向車と正面衝突し、死亡した。	66	1 ～ 9
10	12～ 13	墓基礎工事の際に、スコップで掘った残土を一輪車に載せ、2tダンプに積んでいる作業中、2tダンプの荷台から（幅60cm、長さ2m、スロープ約20度）渡って降りている際に、足の指が詰まった感じがしたので、（高さ約1m）から地面（アスファルト）に飛び降り、着地した時に、左足に全体重がかかり、左足、第1指、第2指、第3指、第4指を受傷した。	34	1 ～ 9
10	15～ 16	公道にて掃除作業中に、相手のトラックが後進し後方の不注意により、ブロック塀とトラックの間に挟まれ負傷した。相手は後方に誘導員を配置しておらず、気づいた時には、挟まれていた。カラーコーンは後進時に気づいていた。	68	1 ～ 9
10	1～2	目的地の現場の切削完了後、回送車に切削機を積み込む直前、運転席から足を滑らせ転倒し、怪我をした。	48	10 ～ 29

10	15～ 16	当社置場にて残土の整理作業を行い、4tトラックにて、残土を処理する会社の置場へ残土を搬入した。ダンプの荷台に乗りスコップで清掃作業を行っていたところ、荷台の床で滑ってしまい、荷台のあおりに右脇胸、右脇腹付近を強打し、負傷したものである。	43	10 ～ 29
10	6～7	当日、車両の整備のため点検作業（トラックの当社保管駐車場所において）を行っていた。荷台の点検をするため運転席後部に据え付けてあるハシゴを登ったところ、過って足を踏み外し高さ1.2メートルから落下し、腰部を打撲したものの。	65	1 ～ 9
10	20～ 21	会社倉庫より看板等の荷物の積込作業のため、トラックの荷台より降りた際に左足を捻った。	47	10 ～ 29
11	14～ 15	仕事を終え帰宅するため、会社敷地内の駐輪スペースで自転車に乗ろうとしたところ、バランスを崩し転倒し左手を負傷した。	60	30 ～ 49
11	17～ 18	事業所敷地内で点検・整備を終え帰ろうとしたところ、業務で使用していた8tトラックの運転席に私物の携帯電話を忘れたことに気づき、トラックの運転席から携帯電話を取り、降りようとしたところ足元が滑りバランスを崩して地面に落ちた。	37	10 ～ 29
11	11～ 12	当事業場倉庫において冬囲・倉庫片付作業中、昼休憩につき資機材をトラックに片付け、トラックの荷台幌を降ろそうと引っ張った際、アオリがしっかり固定されていなかった為、バランスを崩し、被災者は荷台から地面に右足から着地し、足を強く捻り負傷した。	63	1 ～ 9
11	14～ 15	勾配のきつい下り坂で、除草作業中に停車させた作業車が、サイドブレーキが不十分で動き出してしまい、停車させようと運転席側に回ったところ、作業車に轢かれた。	73	1 ～ 9
11	8～9	会社でダンプトラックの荷物を積み下ろし時に、バランスを崩して転落しそうになったので、ダンプトラックから飛び下りた時に着地時の体勢が悪かったので、足を痛めた。	42	10 ～ 29
		現場施工完了後、現場で発生したガラと余剰合材を運搬する為、加害者が3tダンプ		

11	11~ 12	の左後ろの歯止めを撤去した。その後、マニフェストの受け取りと次の現場の場所を確認する為、ダンプ付近で打ち合わせをしたが、次に向かう現場の地図が無く、被害者が現場の場所を個人スマートフォンにて調べていた模様である。加害者がダンプに乗り、バックさせる際にダンプ後方でしゃがみ込んで会社のスマートフォンにて電話をしながら、個人のスマートフォンで場所を調べていた被害者に気付かず後進し、ダンプの下に巻き込んで被災した。	25	1 ~ 9
11	7~8	会社の場内で、始業時の打ち合せ場所に集合するため歩いていたところ、前方に停止していたトラックが急発進してきたため、左前輪に轢かれ足を負傷したものである。	76	1 ~ 9
12	9~10	当社事業所において、作業員2名で仕事納めの事務所内大掃除で発生したゴミを捨てる為、1.5tトラックにゴミを積載し搬出し、じん芥焼却場積み降ろし場で被災者はトラック荷台に上がり飛散防止シートを撤去したあとトラック荷台から降りるため、助手席側のステップに足を掛けたところ滑って不安定な姿勢のまま左足を地面に着いたことにより負傷した。当初は足をくじいたと思われたが、病院を受診したところ、左足首を骨折したことが判明した。	60	10 ~ 29
12	9~10	産廃処分場で、仮置きしていた資材を積むため、4tダンプのあおりが荷台と水平になるロックがついているかどうか、トラック後方で確認作業をしている時、ダンプの荷台を上げ、あおりが自動でたおれた際、誤ってあおりと荷台の間に手をかけてしまい、あおりと荷台の間に挟まれ負傷した。	72	30 ~ 49
12	16~17	会社構内において3tダンプに道具を積み込もうと後部のアオリを外そうとして、サイドレバーを外したところ、アオリ下のフックが掛かっておらず、アオリが落下して、右足甲の安全靴に当たって負傷した。	42	10 ~ 29
12	16~17	会社の置き場にて、トラックへの積み込み作業中、地上2.4m程の高さのトラックの荷台のふちで作業をしていたとき、足を滑らせて転落し、脇腹を打った。	21	1 ~ 9
12	10~11	アパート駐車場の舗装工事中に、4tダンプトラックを移動するため、4tダンプトラックに乗車して運転席ドアを閉める際に慌てていて、人差し指の先を挟んでしまった。	66	1 ~ 9

12	15~16	2tダンプの荷台上でモルタルを練っていた際、前方から後方へ移動しようとしたときに足を滑らせ転落した。その際、既存のブロック塀に左肩を強打し、体をかばおうとして地面に左手をついたとき、左手首を骨折した。	30 70 ~ 49
----	-------	--	---------------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html